新年のあいさつ



和水町長　髙巣泰廣

新年明けましておめでとうございます。

町民の皆様におかれましては、希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶びを申し上げます。

平素より、町政に対しまして、ご理解とご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。

年頭に当たり謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症の第3波で感染拡大が広がる中、新年を迎えました。

その後も感染の拡大と減少を繰り返しながら、6月下旬に従来型のウイルスが変異した「デルタ株」による、第5波が猛威を振るいました。

現在、第5波も落ち着いておりますが、皆様ご承知のとおり更なる変異株である「オミクロン株」が発見され、日本国内におきましても、第6波が懸念される状況となっております。

町といたしましては、昨年の5月中旬に開始した、高齢者施設等への新型コロナウイルスワクチン巡回接種を皮切りに、これまで2回の接種を進めて参りました。

現在、皆様への3回目のワクチン接種に向けて、医療従事者等への接種など、環境を整備しているところでございます。

町民の皆様におかれましては、ワクチンの接種と併せ、基本的な感染対策の徹底に引き続きご協力賜りますよう厚くお願い申し上げます。

また昨年8月には、令和2年7月豪雨に続き記録的な大雨を観測いたしました。

この大雨により、町道や町河川等の公共土木施設及び、農地や水路等の農業土木施設で45件、約6億2，000万円の被害が発生しました。その他にも小災害等が数多く発生しており、早期復旧に向け全力で取り組んでいるところです。

新型コロナウイルス感染症や大雨に伴う災害等多くの天災に見舞われた年ではありましたが、明るい話題も数多くございました。

一昨年から延期となっていた、東京2020オリンピックが7月に開催され、和水町出身のバドミントンプレーヤー廣田彩花選手が、バドミントン競技女子ダブルスに出場し、5位入賞を果たされました。

前十字靭帯断裂という大怪我を負いながらも、最後まで全力で戦う姿は、私達に勇気と感動を与えてくれました。

また、町内の中学生達も大変活躍しております。6月に開催されました、第49回熊本県中学生バスケットボール優勝大会におきまして、三加和中学校男子バスケットボール部が初優勝を果たし、7月には熊本県中学校総合体育大会水泳競技大会において、菊水中学校水泳部の生徒が2つの種目で1位に輝き、第61回全国中学校水泳競技大会にも出場しております。

更に、10月に開催された玉名荒尾中体連駅伝競技大会におきまして、菊水中学校男子チームが、大会新記録での優勝を果たしました。

廣田選手や町内の中学生達のこうした活躍を聞くたびに、心から感激しており、今後も町をあげて応援して参る所存でございます。

町政に関しましては、これまで昨今の人口減少や少子高齢化の問題への対策、また、和水町の活性化のために多くの施策を講じて参りました。

その中でも菰田橋の架け替えが決定し、すでに工事へ着工されております。町の縦軸に当たる道路の整備も目に見えて進んでおり、また住宅用地造成事業による「藤田さくらタウン」分譲地も造成した19区画が完売しております。更に学校跡地活用事業で取り組んでいる企業誘致に関しましても、複数の町外企業の進出が決定しております。

このような事業に引き続き粘り強く取り組むとともに、当町の将来像であります「笑顔輝き　魅力あふれる和水町」の実現に向け、町民の皆様の声を町政に活かし、町議会をはじめ各種機関と連携をとりながら、町民が安心して暮らすことができるまちづくりの創造に邁進して参ります。

結びに、今後とも町政に対するご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様の益々のご健勝とご多幸を祈念申し上げまして、年頭の挨拶とさせて頂きます。



和水町議会　議長　蒲池恭一

和水町民の皆さま、明けましておめでとうございます。

和水町議会を代表いたしまして、謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

町民の皆さまには、輝かしい新春を迎えられたこと、心からお慶び申し上げます。また、旧年中は和水町議会に対しまして、温かい御支援、御指導を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

さて、昨年は世界各国で感染拡大が広がった新型コロナウイルスの影響により、日本国内においても緊急事態宣言が発令されるなど社会生活が大きく変化する年となりました。全国的に感染者数が増加し、医療従事者をはじめとする方々へのいわれのない偏見や差別、また、不確かな情報に惑わされる差別やいじめなどの様々な問題が発生しており、改めて町民の生活を守ることや人権問題への取組の重要性を感じております。

本町においても、町イベントや学校行事、地域の諸行事などが中止され、飲食業、観光業においては予約キャンセルなど事業の継続に大変ご苦労されております。

本町では、令和3年3月から医療従事者へのワクチン接種が始まりました。5月から高齢者のワクチン接種が開始され、接種率は65歳以上の高齢者は95％、全体で89％の接種が完了しました。現在は第3回目の接種に向けて準備が始まっているところです。

このような中、スポーツ界でも大きなニュースがありました。東京オリンピック、パラリンピックが昨年夏に開催され、本町出身の廣田彩花選手が女子バトミントンダブルスで出場し、町民に感動と勇気を与えてくれました。次回のパリオリンピックでの更なる活躍を期待したいところです。

昨年は、8月12日から15日にかけて、局地的に猛烈な雨が降るなど九州北部地方は記録的な大雨となりました。本町においても長期間に渡り前線が停滞し、警戒レベルでは最も高い緊急安全確保が発令されました。

幸いにして人的被害はありませんでしたが、避難所2か所を開設し、多くの方が避難されました。河川や道路、農地、山林も大きな被害が発生し、現在、復旧に向け取り組んでいるところです。

今年4月には、私ども議員は4年の任期が満了し、町民の皆様方の審判を受けることになりますが、議員一人ひとりがその責務を自覚し、議員としてより一層の資質向上に努めるとともに、議会の活性化に引き続き取り組みながら、町民の皆さんの負託とご期待に応えるべく、誠心誠意尽くしてまいる所存であります。

どうか、本年も町議会に対し、さらなるご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、本年が皆様にとりまして幸せで実り多く、大いなる飛躍の年となりますことを心よりお祈りし、新年の御挨拶とします。



和水町病院事業管理者　志垣信行

新年明けましておめでとうございます。町民の皆様も健やかに新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

昨年も一昨年に続きコロナウイルスに翻弄された1年でした。和水町では感染者は少なかったのですが、有明地区では感染者が多く出たので、ご心配された人も多かったと思います。また春には有明地区の公的病院である荒尾市民病院、くまもと県北病院に続き当院もクラスターが発生し、外来閉鎖や入退院中止に追い込まれ皆様には大変ご迷惑をおかけしてしまいました。紙面をお借りして心からお詫び申し上げます。

その後ワクチンの集団接種が順調に進み、7月から猛威をふるったデルタ株による第5波に対しても和水町では感染者はわずかでした。これは和水町ではワクチン接種率がとても高かった為であり、町民の皆様の感染予防に対する意識が高く、協力体制も整っていたからだと感心しております。今年は3回目のワクチン接種も予定されています。円滑にワクチン接種ができるよう町立病院としても最大限協力したいと考えております。

さて昨年は1年遅れで東京オリンピックとパラリンピックが開催されました。直前まで中止論なども出ていましたが、やはり開催されて良かったと思います。地の利もあったでしょうが、日本選手の活躍が毎日伝えられスポーツニュースを見るのが楽しみでした。日本選手だけでなくどの国の選手であれ勝った時の喜びの表情、負けた時の悔しがる表情を見ると、この日のために何年間も血のにじむような努力を積み重ねてきたことが伺えて心が動かされました。和水町出身でバドミントン女子ダブルス世界ランキング1位だった廣田彩花選手は、開催1ヶ月前に右膝前十字靭帯断裂という大けがをしてしまい十分に実力を発揮できず残念でしたが、装具をつけて出場され根性を見せてくれました。その後手術も受けられたとのことで、早く回復し再び活躍されることを願っています。

今原稿を書いているのは2021年の11月下旬です。コロナウイルス感染数は全国的に大幅に減少し、熊本も感染者0が続いています。このまま増えなければ良いのですが、寒い時期にウイルスは活動しやすいので安心はできません。ただ対策もかなり進んでおり、検査に関してはPCR検査と同じ核酸増幅法で行うNEAR法は、30分程度で結果が得られ、町立病院でもこの方法で検査を行っています（休日や夜間は行っていません）。治療も中和抗体を使用するカクテル療法は1回の点滴で高い効果が得られ、多くの患者さんは翌日か翌々日には解熱し、重症化も防ぐことができます。今年は内服治療薬も出てくると思いますので、入院することも少なくなるかもしれません。ただ感染しないことが大切なのでマスクの着用や手洗いは感染が完全に収束するまで続けなければならないと思います。

最後になりますが、今年も皆様が健康で過ごされますことを祈念して新年のご挨拶といたします。